

彼岸より早春までにすべし、葉よく伸るときは、七八寸より二尺にもいたる也、下種は成長おそし。

〔草木六部耕種法^四〕細條根ノ草ヲ作ル法

細條根トハ馬蘭細辛ノ類ヲ云フ、此ヲ作ニハ芍藥ヲ作法ノ如ク、壤土墳土ヲ深二尺モ細碎軟膨

シ、根ヲ分テ亂散密邇ニ植エ置トキハ、夥ク蕃衍者ナリ、今年春植エタルヲ、翌年秋ニ至リ掘採ベ

シ、馬蘭根ハ等ニシテ妙ナリ、細辛ハ藥物ナリ、

番紅花

〔増補多識編^二〕番紅花、和名未詳、異名泊夫藍^目、撒法郎、

〔物類品鑑^三〕泊夫藍、ラテイン語サフラン、紅毛語フロウリス、エンタアリス、又コロウクスヲリ

エンタアリト云、此物生草絶テナシ、乾花蠻國ヨリ來ル、東璧曰、番紅花出西番回回地面及天方國、

即彼地紅藍花也、按ズルニ此説大ナル誤ナリ、泊夫藍番國産ナルガ故、李氏モ其何物タルコトヲ

知ズ、花色紅ニシテ頗紅花ニ似タルヲ以テ、妄ニ番紅花ヲ以テ命ズ、近世紅毛人ドヽニヤウスト

云者本草ヲ著ス、泊夫藍ヲ圖スルコト甚詳ナリ、根葉山慈姑ニ似テ、五瓣ノ赤花ヲ開ク、蠻國ヨリ

來ル所ノ泊夫藍ハ、即其花ノ蕊ナリ、紅藍ノ類ニハアラズ、有圖可考、

〔重修本草綱目啓蒙^十〕番紅花、チヤフラン、羅甸、サフラン、同上、フロウリス、エンタアリ

ス。紅毛フロウリスハ花ナリ、コロウクスヲリエンタアリ、コロウクスハ花ナリ、一名泊夫蘭類

羊心ノ撒滿蘭^八、遊生

此書ニハ紅花ヲ蜜ニテ製スト云ハ非ナリ、番國ニテサフラトント云草ノ花葉ヲトリタル者ナ

リ、舶來アリ、形紅花瓣ノ如ク、至テ細シ、味苦クシテ、梔子ノ氣アリ、色紅黃ニシテ潤多シ、年ヲ經レ

ハ漸ク乾キ、色黒ク香氣薄クナルナリ、

〔茅窻漫錄^中〕サフランム花